

仕様書(概要)		契約 番号	令和 年度 第 号
件 名	令和5年度三刀屋斎場火葬炉更新に係る事業者選定発注者支援業務委託		
実施(納入)場所	雲南市内		
事業概要	内容	<p>≪火葬炉更新事業≫</p> <p>1. 平成8年に供用開始となった三刀屋斎場は、台車方式よる3基の火葬炉を運用。このほか火葬炉予備スペースが1基分ある。排気は2炉一系統で、燃料はLPGを使用している。</p> <p>2. 整備から25年以上が経過。これまで耐火物等の定期修繕に努めてきたが、老朽化が否めず、将来の施設安定稼働をめざして、このたび火葬炉3基の全部更新に着手するものである。</p> <p>3. 年間火葬件数はおよそ900件。ここ数年同様な傾向が続く。将来の人口推計・死亡者推計によっても、数値に大きな変動がないと見込んでいる。</p> <p>4. 今回の事業は火葬場の新設整備ではなく、既存の火葬場内部にある3基の火葬炉全部を更新するものである。したがって、通常の火葬場運用と並行して行う事業となるため、参列される遺族・親族への配慮が必要となる。</p> <p>5. これらを前提として、既存火葬炉3基中2基を通常運用をしながら予備スペースへの新設と第3炉の更新をまず実施。これらが完成後、残る第2炉を更新し、第1炉を廃炉とするものである。</p> <p>≪コンサル受託業務≫</p> <p>1. 以上1～5の更新事業を請負う火葬炉メーカーの選定に向け、その前段となるプロポーザル実施要領書、評価基準書の作成(発注者支援業務)が今回の事業の概要である。</p>	
	期日等	令和5年12月1日(金) ～ 令和6年3月15日(金)	
特記事項	<p>1. 地方公共団体の各種調達は一覧競争入札を経て行うことが原則であるが、火葬炉整備にはガイドラインとされる国のダイオキシン対策指針以外に基本的ルールがなく、金額のみの競争になじまない。</p> <p>2. このことから今回事業の受託者選定に向けては、火葬炉メーカーからの技術提案を受け、これを評価・審査して契約先を決定する「プロポーザル方式」によるものとする。</p> <p>3. したがって、本委託業務受注者においては、雲南市・飯南町事務組合がプロポーザル方式によって火葬炉更新事業者を選定することができるよう①プロポーザル実施要領書②これに係る評価項目及び評価基準案について原案を作成し、それぞれ報告書を5部ずつ提出すること、これが業務内容となる。</p> <p>4. なお、実施要領等に基づくプロポーザル自体はR6年度を予定しており、火葬炉メーカーから出される技術提案書の評価・審査等業務については、今回の業務に含まれない。</p> <p>5. 今回の業務については、当初打合せ1回、中間報告1回、最終報告1回の計3回の協議を予定している。</p>		

※事業内容の詳細は別紙を添付すること。